

< 新規就農者の確保又は認定農業者の育成を実施している事例 >

認定農業者の育成で集落の活性化を図る

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	秋田県横手市 <small>よこてし</small> 安養寺 <small>あんようじ</small>			
協定面積 9.2ha	田(100%) 水稲、転作作物	畑	草地	採草放牧地
交付金額 74万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	集落担当者活動経費	集落マスタープランの将来像を実現するための経費	13%
		農道水路維持管理費	農用地維持管理活動費	18%
				6%
協定参加者	農業者 20人			

2. 取組に至る経緯

当集落は農業者の高齢化や担い手不足により、農用地保全活動の低下が懸念されていたため、農業委員会と連携し遊休農用地の有効活用などにより耕作放棄の発生防止活動や環境整備活動など集落全体で取り組みしていくこととした。

3. 取組の内容

本制度の導入により活発な耕作放棄防止や農道・水路の維持管理活動、新規に育成した認定農業者が農作業委託を行う等の大きな効果が現れている。

また、多面的機能を増進する活動として景観作物の作付け及び管理を非農家やPTA等と連携し集落全体での実施や集落の郷土料理の伝承を目的としたスローフード研修会を開催するなど集落の連帯感が強まっている。



農道補修



スローフード講習会

【集落の将来像】

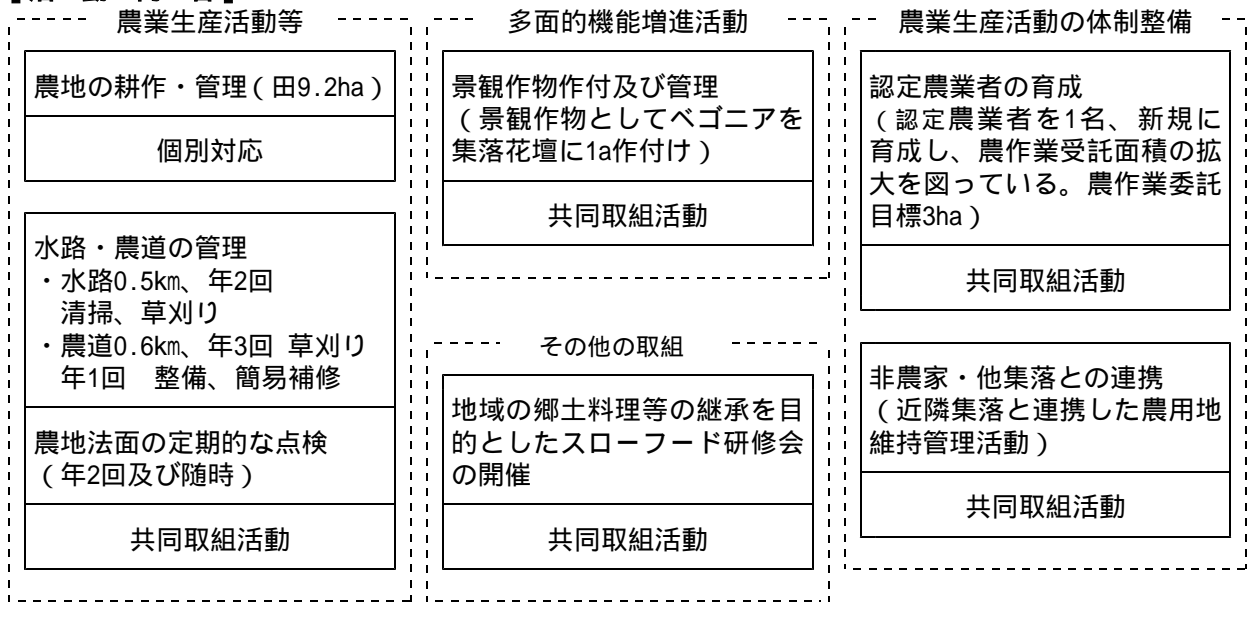
農用地の維持管理、耕作放棄防止活動を継続しながら、農村環境整備など様々な農業生産活動等の共通意識を高め、集落全体で取り組む。



【将来像を実現するための活動目標】

地域の担い手となる認定農業者の育成
近隣の集落協定と連携し、広域的な農用地管理の実施
集落内に景観作物を作付けし、集落環境整備活動の実施

【活動内容】



集落外との連携

近隣の集落協定との連携を図り、共同で農用地の管理及び病虫害防除等を実施し、広域的な農業生産活動に取り組んでいる。

4. 取組による変化と今後の課題等

耕作放棄防止活動について集落の共通認識が高まり、農用地及び水路・農道の管理を実施する回数が増加したほか、集落の問題点について話し合いの機会が以前より多くなり、問題解決について積極的に取り組むようになった。また、認定農業者が増加し、農作業受委託などの効率的な農業生産活動が推進され担い手育成に効果があった。

今後の課題として農業者の高齢化が進み、農用地の個別管理が適正に行われなくなることが考えられ、集落協定の連携による広域的な農用地の管理や新規就農者及び担い手の育成に継続的に取り組む必要がある。

【平成20年度までの主な成果】

集落内の話し合いの機会の増加による連帯感 (当初3回/年、目標4回/年、H20実績4回)
認定農業者の育成 (当初2名、H20実績3名、目標3名)
広域的な農用地管理に向けた取組
(近隣の集落協定との連携した農用地の管理及び病虫害防除等の実施)
(当初無し、目標2回/年、H20実績2回)